

領域プロジェクト名称	表明選好分析による電気自動車の社会受容性評価
担当教員	吉田好邦
プロジェクトの狙い	電気自動車（EV）の二次電池を系統電力に供給する制度（構想）について、消費者へのアンケート調査を行った結果に基づいて、消費者と電力会社の協調による EV の普及の可能性を探る。
プロジェクトの内容	スマートコミュニティにおいて EV は移動の道具だけでなく、その二次電池による電力の供給インフラとしての役割が期待できる。その新しい付加価値の創出には、消費者・電力会社の協調が必要である。二次電池を一定の時間に系統電力に接続する制約の下で、割安に EV が販売される場合に電力会社のメリットとあわせると、どの程度の EV の普及が社会全体の便益を最大にするかを検討する。
プロジェクト開催場所	工学部 4 号館または工学部 9 号館
プロジェクト計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既往研究のレビュー（4月） 2. アンケート調査結果の整理（4月） 3. 統計分析（5月～6月） 4. 電気自動車の社会受容性評価（6月） 5. まとめ（6月）
ホームページ	http://www.ee.k.u-tokyo.ac.jp https://www.facebook.com/y.yoshida.lab